

正の数・負の数の利用(平均との差)

**例題** 右の表は、5人の生徒A, B, C, D, Eの身長をAより何cm高いかで表したものである。これについて次の問いに答えよ。

生徒	A	B	C	D	E
身長	0	-5	+4	-3	+6

(1) B君とC君の身長の差は何cmか

(2) A君の身長が154cmのとき、5人の身長の平均は何cmか。

答

答

**問題** 次の計算をしなさい。

(1) 右の表は、5人の生徒A, B, C, D, Eの身長をAより何cm高いかで表したものである。これについて次の問いに答えよ。

生徒	A	B	C	D	E
身長	0	-5	+10	-1	+6

① B君とC君の身長の差は何cmか

② A君の身長が155cmのとき、5人の身長の平均は何cmか。

答

答

(2) 右の表はA, B, C, D, E, Fの6人の体重をCより何kg高いかで表したものである。これについて次の各問いに答えよ。

生徒	A	B	C	D	E	F
体重	+2	+7	0	-4	-9	-5

① 最も体重の重い生徒と最も軽い生徒の差は何kgか。

② C君の体重が48kgのとき、6人の体重の平均は何kgか。

答

答

正の数・負の数の利用(平均との差)

**例題** 右の表は、5人の生徒A, B, C, D, Eの身長をAより何cm高いかで表したものである。これについて次の問いに答えよ。

生徒	A	B	C	D	E
身長	0	-5	+4	-3	+6

(1) B君とC君の身長の差は何cmか

★  
 B君は … -5  
 C君は … +4  
 その差は  
 $(+4) - (-5)$   
 $= (+4) + (+5)$   
 $= 9$   
 したがって 9cm

答 9cm

(2) A君の身長が154cmのとき、5人の身長の平均は何cmか。

★  
 $\{0 + (-5) + (+4) + (-3) + (+6)\} \div 5$   
 $= (+2) \div 5$   
 $= 0.4$   
 $154 + 0.4 = 154.4$   
 したがって 154.4cm

答 154.4cm

**問題** 次の計算をしなさい。

(1) 右の表は、5人の生徒A, B, C, D, Eの身長をAより何cm高いかで表したものである。これについて次の問いに答えよ。

生徒	A	B	C	D	E
身長	0	-5	+10	-1	+6

① B君とC君の身長の差は何cmか

★  
 B君は … -5  
 C君は … +10  
 その差は  
 $(+10) - (-5)$   
 $= (+10) + (+5)$   
 $= 15$   
 したがって 15cm

答 15cm

② A君の身長が155cmのとき、5人の身長の平均は何cmか。

★  
 $\{0 + (-5) + (+10) + (-1) + (+6)\} \div 5$   
 $= (+10) \div 5$   
 $= 2$   
 $155 + 2 = 157$   
 したがって 157cm

答 157cm

(2) 右の表はA, B, C, D, E, Fの6人の体重をCより何kg高いかで表したものである。これについて次の各問いに答えよ。

生徒	A	B	C	D	E	F
体重	+2	+7	0	-4	-9	-5

① 最も体重の重い生徒と最も軽い生徒の差は何kgか。

★  
 体重が最も重い生徒はB … +7  
 体重が最も軽い生徒はE … -9  
 その差は  
 $(+7) - (-9)$   
 $= (+7) + (+9)$   
 $= 16$   
 したがって 16kg

答 16kg

② C君の体重が48kgのとき、6人の体重の平均は何kgか。

★  
 $\{(+2) + (+7) + 0 + (-2) + (-9) + (-4)\} \div 6$   
 $= (-6) \div 6$   
 $= -1$   
 $48 - 1 = 47$   
 したがって 47kg

答 47kg